はぁと・ほっと☆弥生

2023年 1月発行 弥生が丘自治会 広報 部

『誰だって、助けてもらう時が来る、できる今、助けあえる喜びを』

く新年を迎えて>

弥生が丘自治会会長 笹倉延理



新しい年を迎え、自治会長として3期目6年間が過ぎようとしています。 日頃は皆様からのご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ご承知の通りコロナ禍は収束したかに思えましたが、新たな変異株によりまだ先が見えない状況にあります。コロナと共存する生活様式には、まだまだ戸惑いがちですが、弥生では地域の皆さんや役員の努力により、昨年は敬老祝賀会、子ども会の立上げ、夏のふるさとまつり・秋の弥生フェス、防災訓練、人権講演会、クリーンデー・リサイクルデー等、諸行事を感染防止に努めながら実施してきました。

少子高齢化の時代ですが、地域への新しい住民も増えつつあるように見えます。

誇らしく愛し続けるこのまち弥生をこれからも残し、若い世代に引き継いでいくためには地域の皆様とともに取り組んでいくことが大切だと思います。

今年もコロナ禍での活動を余儀なくされますが、「朝の来ない夜はない」との思いで現実に立ち向かってゆかなければなりません。これまでの地域活動を踏まえ、知恵を出し合い、工夫をしながら「コロナ禍に対応した新しい地域の活動様式」を地道にひとつずつ、目の前の出来る事から取り組み、進めていきたいと思います。(※コミセン玄関前の門松: 少年野球コーチ OB 有志の方が作って下さいました=広報部)

∼自治会活動に携わって~

◆新たな出逢い・新たな発見◆

6丁目地区長 小原陽子

初めての自治会活動で、右も左もわからないところからのスタートでした。

活動するにあたり、とても驚いたことがあります。それは自分の両親と近い年齢の方が率先して精力的に活動されていることでした。地域の方々がより安心して過ごせるまちづくりを目ざして意見を出し合ったり、またこれからの弥生が丘を担っていく子どもたちが楽しみながら自治会活動に触れら

れるよう子ども会を発足したりと、日々努力されていました。そんな姿を拝見し、私も微力ながらお役に立てるよう頑張りたいという思いで ここまで活動してきました。

自治会活動を通じて新たな出逢い・新たな発見ができたことで、改めて地域の人たちとの絆づくりの大切さに気づき、自治会の必要性を感じています。



◆自らの手でまちづくりを!◆

会計 片山雅博

最近フラワータウンより金融機関などの撤退が目立ち、地区の将来に不安を感じ始めており、このままでは今迄享受できたフラワータウンの良さ、利便性が失われていくのではないか心配になります。 行政もフラワータウンの活性化のために再開発の検討を進めているようですが、今後 10 年・20 年 先の次世代のためにも、これ以上利便性が損なわれ、活気が失われないよう、私たちも行政など関係 機関に働きかけ、実現に向けての努力が必要だと思います。

この2年間会計として自治会活動に携わるなかで、個人の力に頼るのではなく自治会の場でみんなで知恵を出し合い、夢を描き、まちづくりに取り組んでいく必要性を強く感じています。



12月3,4日弥生が丘コミセンと『やよい夢ひろば』にて「弥生フェス2022」 を開催いたしました。

昨年、コロナ禍の中「つい沈みがちな気持ちを明るくしよう!」「弥生のまちを 元気にしよう!」の願いをきっかけに始めた弥生フェスですが、今年は昨年と趣を 変え、新たに設立した「子ども会」のイベントを組み入れ、夢ひろばでは、まち協 主催の多世代交流イベント、そして新たな試みとして、地域の方が気軽に参加いた だけるフリーマーケットを開催しました。コミセンでは登録団体の発表会を行い、 オカリナのキレイな音色、カラオケの陽気な歌声、ギター演奏での熱唱が聞こえて 来る楽しい、賑やかな 2 日間でした。私たちイベント部としても今後地域の方々 に参加いただける様々なイベントを企画し、弥生のまちおこしの起爆剤になりたい と考えております。引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

◆盛況だったクリスマス会◆

12月3日(土)は午後1時から『やよい夢ひろば』で、子ども会の52人 も参加し、年齢別にニュースポーツ(モルック・ボッチャ・グランドゴルフな ど)全てのゲームを楽しみました。午後2時からはコミセンで、準備段階から 協力いただいた9名の保護者の皆さんも一緒に、子ども会・クリスマス会を開 催し、大きな松ぼっくりに飾り付けをしたクリスマスツリーを製作しました。

その後ビンゴゲームで盛り上がり最後にサンタクロースとトナカイから一人 ひとりにお菓子のプレゼントが配られました。参加出来なかった約50人の子 どもたちにも保護者委員からプレゼントを配っていただきました。







◆子ども会ができ、皆が集まれた◆ 6年生保護者 林智子 ツリー製作やビンゴ大会で盛り上がり、プレゼントを持った サンタさんとトナカイに子どもたちみんな目を輝かせていまし た。子ども会ができたことで、皆が集まる機会ができ、飛び上が って喜ぶ子ども達の姿を見ていて微笑ましかったです。

今回お手伝いをさせて頂きましたが地域の方々の子どもたち への熱い思いが素晴らしいと思いました。準備も皆さんと一緒 に楽しくでき子どもたち同様、私自身も楽しませて頂きました。

◆また楽しいイベントを◆

1年生保護者 森本ひろみ

子どもたちの松ぼっくりの大きさに驚いている姿や、お友達と楽しみ ながら、飾り付けをしている姿が見られて、私も嬉しかったです。大き なリースの飾り付けにも多くの子どもたちが協力し、とても素敵なリー スが出来たと思います。松ぼっくりやリースの準備等、地域の方々の協 力にとても感謝しています。



これからも、子ども会で楽しいイベントが企画出来たらいいなと思います。



◆子どもたちと地域の皆さんが一緒に◆ 1,3,5年生保護者 野口桜 幼稚園から小学校 6 年生までの子どもたちと地域の皆さんが一緒になって ワイワイ言いながら終始楽しむことができました。松ぼっくりのクリスマス ツリーでは、一人ひとりが好みのパーツを選んだり、モールで星やハートなど の形をなんとか作ろうと頑張っていました。それぞれのこだわりの作品にな っていたように思います。子どもたちが元気よく楽しそうにしている姿を見 て、私も元気をもらいました。

弥生フェス ~多世代交流の場に!~

広報部

今年の「弥生フェス」は、弥生まちづくり協議会、老人クラブ弥生会、少年野球〇B会の協力によるニュースポーツに子どもたちから大人まで参加し、多世代交流の場となりました。

『やよい夢ひろば』では自治会として初の試みである「フリーマーケット」も開催されました。

地域の皆さんの家に眠っていた日用品、趣味で作っておられた手芸品、自家製野菜などが販売され掘り出し物を手にされ喜んでおられる姿も見受けられました。雰囲気の異なったところでメダカすくい、お手製ドーナツ・コーヒーコーナーなどもあり、和やかな雰囲気でのひと時でした。

また、コミセンでは「子ども会」によるクリスマス会の他、登録団体の発表をはじめ「弥生おりがみの会」、「囲碁クラブ」、「人権標語掲示」が行われました。





















伊藤真波さん講演会 ~あきらめない心~

人権協議会 事務局

~みんなで育もう 地域の輪と絆~をキャッチフレーズに弥生校区地域人権教育協議会、自治会健康推進部、ふれあい活動推進協議会の3団体共同主催によりフラワータウン市民センター大ホールで11月13日(日)人権講演会を開催しました。小雨模様にも拘わらず約100名の参加者がありました。

今年は、義手のヴァイオリニストで元看護師、パラリンピック水泳競技にも2度出場された伊藤真波さんをゲストにお招きし、**『あきらめない心』**と題しての講演と、ヴァイオリン演奏をお聞かせいただきました。



看護師をめざしていた伊藤さんは20歳の時看護学校に向かう途中バイクで交通事故に遭い右腕を 失われました。入院したリハビリテーション病院でいろんな障害がありながら這い上がろうとされて いる仲間に感化され、また周りの人達の支えもあり「もう一度夢を持とう」と決意されたそうです。



参加された皆さんからは「障害のあるなしに関わらず、共に助け合い協力し合う大切さを学んだ」「伊藤さんの生き方に感銘を受けた」「勇気と力添えをもらい、これからの生き方の参考になった」など多くの声をいただきました。私達も地域で生活していく上で、住民同士がお互いに支え合い、助けあう事の大切さを、改めて気づかされた伊藤さんのお話でした。

共生社会の実現に向け人権協議会の取り組みを一層進めてまいります。

春川政信さん人権研修会~知っているようで知らないこと~ 人権協議会副委員長 小松郁夫

10月30日、恒例の春川正信さんを講師に『ホット情報 兵庫県で起こっていること!』~許せない部落差別 そして取り組みへ~と題して、ネット社会のもとでの部落差別の新たな現状を、身近な地域の具体的な事例を挙げて分かりやすく説明をしていただくとともに、平成28年に制定された「部落差別解消推進法」の意義や、それに基づく様々な施策や取組についても詳しく話をしていただきました。



人権教育に前向きに取り組んでおられる弥生小学校の先生方9名をはじめ、約50名の方の参加者があり、講師の語りに熱心に耳を傾けておられました。

令和4年4月、三田市に人権共生条例が定められ、市を挙げて共生社会を目ざしているんだということも初めて知り、「知ってるようで知らないことが多い」と分かりました。この研修会は、そんな気づきを与えてくれる貴重な機会の場にしたいと考えています。

HUG 訓練(避難所運営ゲーム)の実施

防災部

HUG訓練を10月1日(土)コミセンで開催しました。正副地区長、班長を中心に30名が参加しました。訓練を通し、災害時の避難所の運営の難しさ、大切さを痛感しました。

弥生が丘地区防災訓練



本年度は11月19日(土)に三田市総合防災訓練が弥生小学校で実施され、弥生が丘地区から消火器の実射訓練に15名が参加しました。毎年実施している弥生が丘地区の総合防災訓練は市の総合防災訓練の前に、避難訓練をメインに行いました。「無事カード掲示」による安否確認(カード掲示数:895戸<掲示率57%>、正副地区長の引率での各避難所から弥生小学校(三田市指定避難所)への避難訓練(参加者:小学生含め422名)を行い

ました。また新たに県の補助金で購入したエアーストレッチャーの取り扱い訓練を、校舎内で消防本部の指導のもとに行いました。

毎年、防災訓練を行うことで地区住民に自助、近助、共助 の啓発を行い、防災に対する意識向上に努めてまいります。





防災研修の実施

今年度の防災研修を令和5年3月4日(土)に予定しています。研修場所は北淡震災記念公園 (野島断層)、兵庫県広域防災センター(三木市)を予定しています。

富士中生徒と地域の合同クリーンデー実施

富士中生徒と弥生地域住民との合同クリーンデー、今年も 12 月 11 日(日)8:30 から約1時間、実施しました。富士中生徒は部活単位で顧問の先生に引率していただき、各公園や遊歩道で、主に落ち葉集めの作業をしてもらいました。

地域の皆さんは、生徒に清掃範囲の指示、清掃の仕方の指導をしたり 部活動への励ましの声掛けをする等、和気あいあいと生徒との交流を図 っておられました。

弥生小児童も家族の方と一緒に一生懸命落ち葉集めをしてくれました。

この取り組みは、清掃作業を通じ子どもたちと地域住民の交流を図ることを目的に、平成27年に第1回目を実施して以来、今年で8年目になり、すっかり定着してきました。

(参加者)地域住民:430名 富士中:55名(生徒49名、教師6名)(集まったごみ袋)約330袋

生活環境部





弥生が丘コミュニティセンター

〒669-1546 弥生が丘2丁目21 ☎/Fax:079-562-0434

E-mail: ya54278@xa3.so-net.ne.jp

公式ホームページ閲覧方法二【弥生が丘自治会】で検索

